

「アジア青年の家2009」について

<http://ayepo.go.jp>



毛利衛さんの講演



各国の文化発表



DNA実験の様子

内閣府沖縄担当部局では、今年の夏も「アジア青年の家」事業を実施します。「アジア青年の家」とは、ASEAN諸国を中心としたアジア各国などの中高生が、夏休み期間中の約3週間を、東アジアの中心に位置する沖縄で共同生活を行いながら、環境問題などをテーマに共に学習するプログラムです。

プログラムは、水に関する環境問題を主なテーマに、約3週間の日程を4つのセッションに分け、県内各地の施設や自然を舞台に実施されます。

環境問題に携わる専門家による講義や漂着ゴミの実態調査を始めとする体

この活動に参加する中高生を募集しています。本号お知らせ欄「アジア青年の家」に参加しませんか（21頁）をご覧ください。

験学習、宇宙飛行士の毛利衛さんなど一流科学者を招いてのオープンセミナー（ ）など、興味深い多くのプログラムを盛り込む予定です。

また、異なる文化を体験し理解を深めるきっかけとなるよう、参加青年による各国の文化発表も盛り込まれています。（掲載の写真は昨年の活動の様子です。）

オープンセミナーは、アジア青年の家参加青年の他、科学技術や環境問題に関心のある中高生の皆さんも参加いただけます。

	第1セッション	第2セッション	第3セッション	第4セッション
期 間	8月5日～9日	8月10日～12日	8月15日～18日	8月19日～24日
場 所	糸満市 (県立糸満青年の家)	渡嘉敷村 (国立沖縄青少年交流の家)	宜野座村 (JAおきなわ教育研修所)	宜野座村、那覇市 (JAおきなわ教育研修所等)
テーマ	世界の水問題について	海洋環境について ～渡嘉敷の自然を題材に～	淡水生態系の保全と 海水の淡水化について	まとめ (成果の構築)
考え方	地球温暖化問題を皮切りに、世界の水問題について理解を深め、その解決に向けた取組みについて学びます。	渡嘉敷島の豊かな自然を素材に、サンゴ礁の保全や漂流・漂着ゴミ問題などについて、自然体験や海洋環境に関する学習を行います。	マングローブ生態系の保全について体験学習を行うとともに、科学技術を生かした環境問題への取組みの一例として、海水の淡水化について学びます。	ディスカッションや「環境問題に触れ、科学技術の素晴らしさを語り合うオープンセミナー」を通じて、これまでの講義や体験等を踏まえた成果の構築を行います。

- 1 第1セッションと第3セッションの間には伊江島でのホームステイを実施します。
- 2 プログラム構成については、今後、変更があり得ます。